

福祉実験ユニット「ヘラルボニー」とコラボレーション

衣・食・住を彩るライフスタイルブランド「HERALBONY」のファブリック製作

先行販売中



株式会社川島織物セルコン（本社：京都市 社長：木村弘一）は、福祉実験ユニット・株式会社ヘラルボニー（本社：岩手県盛岡市 社長：松田崇弥 / 以下、ヘラルボニー）とコラボレーションし、ヘラルボニーのブランド「HERALBONY」より発売されるライフスタイル製品のファブリックを製作します。

ヘラルボニーは、知的障害のある作家の才能や描き出されたアートを「異彩」と定義し、社会の様々なモノ・コト・場所へ「異彩を放つ」事業を展開する企業です。当社はヘラルボニーの掲げるミッションやその事業内容に賛同し、また、ヘラルボニーは川島織物セルコンの真摯なモノづくりへの思いに共感し、ヘラルボニーが今般、ライフスタイル分野へ事業拡大を図るに際

し、ファブリック類の製作を担当することになりました。

今回、製作したのは、「ソファ」「チェア」「スツール」「クッション」に用いられるファブリックです。作家の筆運びまで再現できるよう、試行錯誤を重ねました。

商品は、応援購入サービス「Makuake」にてマットや食器、ライフスタイルブランドとホテルのコラボレーション第一弾となるコンセプトルームの宿泊権などと共に先行販売中です。

■詳細は Makuake のプロジェクトページにて公開
<https://www.makuake.com/project/heralbonylifestyle>

■株式会社ヘラルボニー

ヘラルボニー

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す福祉実験ユニット。日本全国の主に知的な障害のある作家とアートライセンス契約を結び、2,000点以上のアートデータを軸に作品をプロダクト化するブランド「HERALBONY」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。社名「ヘラルボニー」は、知的障害がある両代表の兄・松田翔太が7歳の頃に自由帳に記した謎の言葉。「一見意味がないと思われるものを世の中に新しい価値として創出したい」という意味を込めている。

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

所在地：岩手県盛岡市開運橋通 2-38

代表者：代表取締役社長 松田 崇弥、代表取締役副社長 松田 文登

公式サイト：

<https://www.heralbony.jp>

<https://www.heralbony.com>

■アートライフスタイルブランド「HERALBONY」



ヘラルボニーの自社ブランド。障害のある作家のアートデータを活用し、ハイブランドのアパレル用品（スカーフ・バッグ・ネクタイ等）をプロデュース。日本各地で展開するリアル店舗と越境 EC にて販路を拡張している。全日本仮囲いアートミュージアム事業で掲出したアート素材をアップサイクルするサステナブル商品も手掛ける。

EC サイト：

<https://heralbony.com/>

■「ヘラルボニー/異彩のみらい」展

一部商品は、展覧会「ヘラルボニー/異彩のみらい」でご覧いただけます。

会 期：2022年2月1日（火）～3月27日（日）

時 間：11:00～19:00

休館日：毎週月曜（月曜が祝日の場合は翌日の火曜へ振替休館）

会 場：BAG-Brillia Art Gallery-

〒104-0031 東京都中央区京橋 3 丁目 6-18 東京建物京橋ビル

入館料：無料

公式サイト：<https://www.brillia-art.com/>

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更になる場合があります。詳細は公式サイトをご確認ください。